

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

評価日(集計日)：令和4年 5月 16日

事業所名：放課後等デイサービス華富（カフー）

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			活動を行う空間を仕切りを使用し区切ることができるようにしています。その為、活動ごとの別空間を利用した活動が可能です。
	2	職員の配置数は適切である	8			利用者の人数に対して十分な職員が配置されています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8			施設内はバリアフリーとなっています。屋外はスロープの設置や人工芝など安全面にも配慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8			朝礼や定例会議、ミーティング等で意見交換をしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			アンケートを実施しています。アンケートの結果を元に業務改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			ホームページで掲載します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		1	7	現状、外部評価は行っておりません。今後、必要に応じて行います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2		コロナ禍の為、外部研修会には参加していないが、オンラインの研修を各職員が行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			利用前に必ず、保護者や関係機関との面談、体験利用を行い、情報の聞き取りや体験日の様子をもとに作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			8	今後使用していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			ミーティングを行い、職員で話し合いをします。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			ミーティングを行い、職員で話し合いをします。活動プログラムの難易度を設定し、固定化させないよう工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			天候や季節により臨機応変に対応しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			状況に応じたサービス計画を作成しています。

		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			朝礼にて当日の予定の確認をしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			当日中に申し送りを行っています。 朝礼にて前日の振り返りを行い、全体周知をしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			連絡帳に記入、支援経過記録に記載しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			実施しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8			ガイドラインの総則の基本活動をもとに実施しています。	
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			児童発達支援管理責任者が参加しています。
		21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8			送迎時、電話対応にて情報を共有できる体制を取っています。
		22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			8	現在は対象となる利用者がいません。
		23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8			担当者会議の際に行っています。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			8	現在は対象となる利用者がいません。	
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	3		コロナ禍の為、オンラインでの研修のみ参加。	
26		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			8	コロナ禍の為、自粛しています。	
27		（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している			8	コロナ禍の為、自粛しています。	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			保護者との連絡帳や送迎時に情報共有できるようにしています。		

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	6		希望のご家庭に対して実施しています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			面談時、契約時に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			相談があった場合に、助言等を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			8	コロナ禍の為、自粛していますが、今後計画していきたいと思っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			直ぐに対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	6		不定期ではあるがお便りを作成し通知しています。また、SNSを使用して活動内容を容易に閲覧することができるようにしています。
	35	個人情報に十分注意している	8			指導の元、徹底しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	7	コロナ禍の為、地域住民との交流の機会は自粛しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			職員間では書面にて周知しています。保護者には希望がある場合のみ書面でお知らせします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			6ヶ月に1回実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			外部の研修会に参加後、職員研修を行います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		1	7	現在まで対象となる事例がありません。必要な場合には基準を設定し対応します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			8	現在まで対象となる利用者、事例がありません。今後必要な場合には基準を設定し医師の指示書に基づいた対応をいたします。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			事例作成を行い、共有しています。